

カトリック東京大司教区 菊地大司教さまが 2020 年 4 月 27 日  
に出されたメッセージを参考に送付いたします。

カトリック東京大司教区の皆様

「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ 28:20)と  
弟子たちに約束された復活の主は、新しいいのちに生きるようにと、  
わたしたちを招いておられます。

感染症の拡大という困難な事態のただなかにあっても、わたしたちは、  
主がお見捨てになることなく、今日もまた共におられることを信じています。

いのちの危機に直面する中で、人間の弱さを自覚させられているわたしたちは、  
「キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを  
誇りましょう」というパウロの言葉を思い起こします(2 コリント 12:9)。  
助けを求めている世界は、わたしたち弱い存在を通して働かれる力強い神の力を  
必要としています。

ですから、できる限り家にとどまりましょう。それは逃げ隠れているのではなく、  
すべての人のいのちを守るための前向きな行動です。

同時に、様々な事情から家にとどまれない人たち、とどまる家のない人たちに、  
力強い守りの手が差し伸べられるよう祈りましょう。

またいのちを守るために、日夜懸命に働いておられる医療従事者の皆さんが、  
守られるように祈りましょう。

病床にある人たちに、神の癒やしの手が差し伸べられるよう祈りましょう。

困難に直面するわたしたちは、神の愛といつくしみのうちに、互いに助け合い、  
支え合い、尊重し合い、連帯する中で一致へと歩むことができるように、  
努めたいと思います。

カリタスジャパンも、いのちを守る活動を支援するため、募金を始めました。

緊急事態が宣言されている間、ミサの公開を含めた教会活動を中止しています。  
解除された後にも、しばらく状況を見極める必要があります。

当面の間、現状を維持し、「三つの密」を避け、責任ある行動をとりましょう。  
今後の方向性については、緊急事態宣言が解除されたとき、お知らせできる  
ように準備しています。

集まることができない中でも、共にいてくださるイエスを中心として、  
わたしたちは一つのからだに霊的に繋がれています。  
今年の復活祭に洗礼を準備されていたものの、洗礼式がまだ行われていない皆さんも、  
そのからだの一部です。洗礼志願者の皆さん、それぞれの場にとどまりながら、神の力が  
世界を支配して下さいますようにと、共同体の皆と一緒に祈ってください。

いつくしみ深い神が、すべての人を、まもってくださいますように。

2020年4月27日

カトリック東京大司教区 大司教

菊地功